

各 位

平成 29 年 7 月 19 日

会 社 名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代 表 者 の 役 職 氏 名 代 表 取 締 役 社 長 塚 田 眞 人
(コード番号：6879 東証第一部)
問 合 わ せ 先 取 締 役 執 行 役 員 森 田 正 和
企 画 部 ・ 経 営 管 理 部 担 当
T E L 0 3 - 6 7 4 1 - 5 7 4 2

日本発“空間移動型VR”オリジナル最新作「アバル:ダイナソー」

7. 15公開

当社の連結子会社である株式会社ロボットの関連会社、株式会社ABALのオリジナル最新作「ABAL:DINOSAUR(アバル:ダイナソー)」が、2017年7月15日(土)公開となりましたことをお知らせ致します。

革新的なVRサービスの創造に取り組む株式会社ABALが、オリジナル最新作“ABAL:DINOSAUR(アバル:ダイナソー)”を、2017年7月15日(土)～8月27日(日)に開催される「テレビ朝日・六本木ヒルズ 夏祭り SUMMER STATION」にて一般公開いたします。

(添付資料 全5枚)

株式会社ロボット ニュースリリース

『当社関連会社(株)ABAL、日本発“空間移動型 VR”オリジナル最新作「アバル:ダイナソー」7. 15公開』

以上



当社関連会社(株)ABAL、
日本発“空間移動型VR”オリジナル最新作「アバル：ダイナソー」
7.15 公開。

株式会社ロボット（本社：東京都渋谷区 代表取締役：加太孝明、以下「ROBOT」）は、関連会社で革新的なVRサービスの創造に取り組む株式会社ABAL（本社：東京都港区 代表取締役：尾小山良哉、以下「ABAL」）が、オリジナル最新作「ABAL：DINOSAUR（アバル：ダイナソー）」を、2017年7月15日(土)～8月27日(日)に開催される「テレビ朝日・六本木ヒルズ 夏祭り SUMMER STATION」にて一般公開することをお知らせ致します。



ABALとは、劇場映画を中心としたエンタテインメントおよび広告制作を行うROBOT、リアルタイムCG・VFX分野に強みを持つ株式会社wise、画像認識・位置測定・空間認識技術等を活用したソフトウェア、ハードウェアの企画・開発を行う株式会社A440の3社がそれぞれノウハウを持ち寄り、2016年に設立されたジョイントベンチャー企業。VR空間内を自分の足で自由に歩いて、触って、多人数で楽しめる空間移動型VRシステム「ABALシステム」を開発し、ROBOTは同社の独占的営業窓口権を保有しています。

ROBOTはこれまで長年培ってきた多岐にわたるエンタテインメント制作の知見をVR事業に活かし、この度「ABAL：DINOSAUR（アバル：ダイナソー）」を完成させました。今後も経営理念である「エンタテインメントを通じて、勇気と希望を社会に与える」企業として、ABALと共にVRをはじめ映像エンタテインメント全体の発展に貢献する、革新的なサービスを提供してまいります。

会場： テレビ朝日・六本木ヒルズ 夏祭り SUMMER STATION
期間： 2017年7月15日（土）～8月27日（日）計 44日間
設置場所： テレビ朝日本社・アトリウム1F （東京都港区六本木6-9-1）
運営時間： 10:00～19:00 （最終受付 18:30）
入場料： サマパス（「テレビ朝日・六本木ヒルズ 夏祭り SUMMER STATION」全エリアに入場できる1DAYパスポート）
大人（中学生以上） 2,000円（税込） 小人（4歳～小学生） 1,000円（税込）
入場方法： サマパスの他、設置場所にて配布される整理券が必要となります
推奨年齢： 13歳以上（8歳以上12歳未満は保護者同意が必要、8歳未満はご利用頂けません）
会場HP： <http://www.tv-asahi.co.jp/summerstation/>

タイトル： ABAL：DINOSAUR（アバル：ダイナソー）
公式HP： <http://abal.jp/>

日本発 “空間移動型VR” オリジナル最新作「アバル：ダイナソー」

7.15 公開。



さあ 6500 万年前の大迫力の恐竜世界へ！！

恐竜たちの世界を歩き、その大きさを、その声を感じる。

“巨大彗星” が現れるその時を目指して、あなたは这个世界を旅をする。

この旅は、きっと誰もが夢見た恐竜達との出会いになるだろう。



「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」

テレビ朝日本社・アトリウム1Fにて公開

2017年7月15日(土)～2017年8月27日(日)

最大同時体験者数：6名
コンテンツ時間：約15分

日本発の “ 空間移動型VR “ ABAL（アバル）は
 「映像エンタテインメント」「コンピューターグラフィックス」「コンシューマーゲーム開発」
 それぞれの分野をリードする3社によって開発された
 “MADE in JAPAN”のヴァーチャルリアリティ・システムです



【株式会社ロボット】

1986年にTVCMとグラフィックの制作プロダクションとして事業をスタート。その後、映画、TVドラマ、WEB、アニメーション、モバイルゲームなどに事業領域を広げ、2009年に米国アカデミー賞を受賞。日本を代表するエンタテインメントプロデュース会社です。



【株式会社ワイズ】

2014年に映像ディレクター尾小山良哉によって設立。リアルタイムとプリレンダリングの双方のCG製作技術を駆使して、映画、ゲーム、広告、VRといった幅広いジャンルのエンタテインメント映像を演出・製作している。



【株式会社エーヨンヨンマル】

リアルタイムCGに対する技術と知識を元に、完成された映像作品とは違う、ユーザーが触れることによって変化するインタラクティブコンテンツを制作。コンシューマーゲーム制作で培った「感触」と妥協のない「クオリティ」で高い評価を獲得しています。

— ABAL体験の3つのポイント —

ABALシステムは、独自の開発により、非常に軽量な装備でVR空間内を自由に歩くことができ、オブジェクトに触れ、多人数による共有体験ができ、ワイヤレスによって広い行動範囲が実現できるなど、世界中の競合システムに対しても優位性を有する、革新的なVRシステムです。ROBOTはABALシステムの独占的営業窓口権を保有しています。

【ABAL体験のポイント】

「触る」

ユーザーはヴァーチャル空間内に存在する物（オブジェクト）に自分の手で触れることができます。
 また、対象物にマーカーをセットすることで、そのオブジェクトに触れて動かすことができます。

「共有」

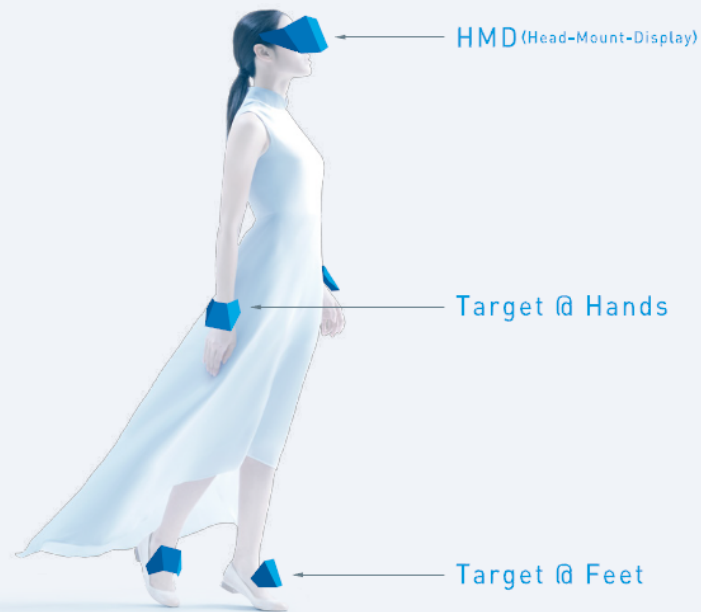
複数のユーザーでひとつのヴァーチャル空間を共有することができます。
 現実と同じように、相手の存在を認識することができるので
 友達と手をつないだり、ハイタッチしたり、ときには助け起こしたりすることもできます。

「超軽量」

装備は軽量なHMDとマーカーのみ、かつ完全なワイヤレスシステムのため
 ユーザーの動きの制約が非常に少ないのが特徴です。ヴァーチャル空間内を自由に歩き回ったり、
 設置する実空間にスペースのゆとりがあれば、走ったり跳ねたりすることも可能です。

MECHANISM

USER SIDE



【ABALの仕組み】 ユーザーサイド

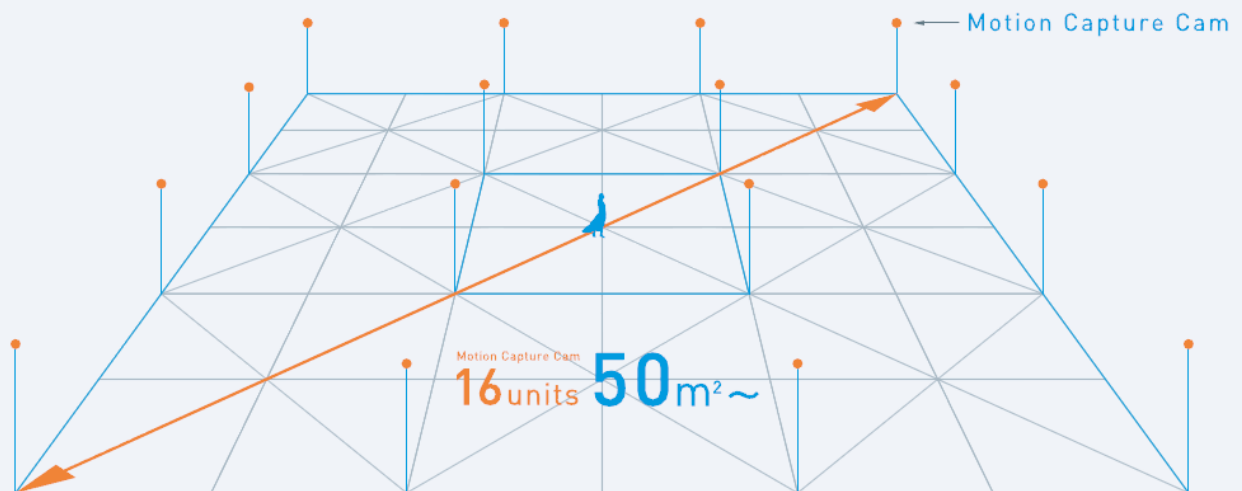
ユーザーが身に付けるのは、「軽量のHMD (Head-Mount-Display)」と「手足のトラッキングターゲット」のみです。

画像処理用PCを背負ったり、有線のディスプレイを装着する必要が無いため、とても身軽です。

また、サービスオペレーションの観点からも簡便な運用が可能です。

MECHANISM

SYSTEM SIDE



【ABALの仕組み】 システムサイド

空間にセットされたモーションセンサーが「ユーザーの位置情報」と「全身のアクション」を感知します。

センサーの台数を追加することで「会議室程度」から「スタジアム規模」まで

どんな広さの実空間にも対応可能です。

◆ABALについて

所在地：東京都港区南麻布2-13-12

五反田スタジオ：東京都品川区東五反田2-13-6

代表取締役：尾小山良哉

事業内容：画像認識、位置測定、空間認識技術等を活用したソフトウェア、ハードウェア、Webサービス、
映像及びCGの企画・開発・制作・運営・販売及び配信

企業URL：<http://www.abal.jp>

◆ROBOTについて

所在地：東京都渋谷区恵比寿南3-9-7

代表取締役：加太孝明

事業内容：エンタテインメントおよび広告コンテンツの企画・制作事業（映画/TVCM/テレビドラマ/アニメーション/
ゲーム等）

企業URL：<http://www.robot.co.jp/>

◆本ニュースリリースならびに取材に関するお問い合わせ先

株式会社ロボット 経営企画部（広報担当）：中上川 康二・新澤 彰子 TEL：03-3760-1064（press@robot.co.jp）